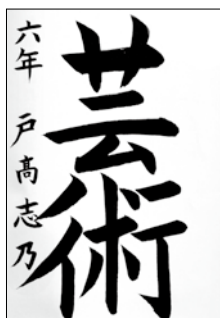


表彰のひろば

楽しさのこもった一筆で



翼小学校の戸高志乃さん（6年）が第25回高円宮杯日本武道館書写書道大展示会で文部科学大臣賞を受賞しました。

2年生のときに書道教室に通うお姉さんの姿を見て始め、毎週教室に通って練習しているそうです。「何度も書いて手本の字に近づけていくのが楽しい」という戸高さん。これからもずっと書道を続け、もっと上の賞を取りたいと明るい笑顔で豊富を語ってくれました。



きりりと弓引く立ち姿



9月5日～7日に行われたねりんピック北海道・札幌2009に愛知県代表として出場した春日町の山本春子さん（73歳）が、出場した選手の中の高齢者上位8人に贈られる高齢者賞を受賞しました。

山本さんは、「背筋を使って弓を引くことで姿勢が良くなり、体調も改善されました。弓道は年齢や性別に関係なくできる競技なので、皆さんにもぜひ始めてほしい」と語ってくださいました。若さの秘訣、これからもぜひ続けていってくださいね。



世界3位の溶接技術

森 裕一さん技能五輪国際大会で銅メダル獲得を市長に報告

「幼い頃から機械を触ることが大好きでした。」と市長に語るのは市内在住の森 裕一さん22歳。工業高校を卒業後、(株)豊田自動織機に勤務し、溶接技術の腕を磨き、国内の大会では2年連続金メダル。世界3位の高度な技能や経験は、次の世代にも受け継がれることでしょう。

